

## 書体の種類を知ろう② 和文書体と欧文書体の違い《後編》 エレメントの違い

今回のコラムでは、「和文書体と欧文書体の違い」の後編として、文字を構成しているエレメントの違いをご紹介します。

### 書体の分類

前回のコラムでも記述しましたが、復習・この記事だけをご覧の方のために、和文書体と欧文書体についてご紹介します。

書体は大きく2種類に分けることができ、1つは「和文書体」もう1つは「欧文書体」です。

#### 和文書体

日本語書体のこと。日本語の文章で必要な、ひらがな、カタカナ、漢字が含まれています。

和文書体をさらに分類することができ、代表的なものとして明朝体やゴシック体があります。

#### 欧文書体

アルファベットの書体のこと。アルファベットの大文字・小文字が含まれています。

日本語の文章の中で英語の単語や数字が含まれている際に、アルファベットと数字のみ欧文書体に変更したりするなど、和文書体と組み合わせて使用することもあります。

欧文書体もさらに分類することができ、代表的なものとしてセリフ体(ローマン体)やサンセリフ体があります。



## エレメントとは

エレメントとは何か、まず、和文書体を構成する要素と合わせてご説明します。

和文書体を構成する要素には「骨格」「ふところ」「エレメント」があります。

### 骨格

文字の骨組み。芯の部分。骨格によって、基本的な字体とふところの広さなどが決まります。

### ふところ

字面の内側の空間。ふところの大きさがフォントのイメージが決まります。ふところが広いと明るい、堂々とした印象、狭いとスマート、引き締まった印象になります。

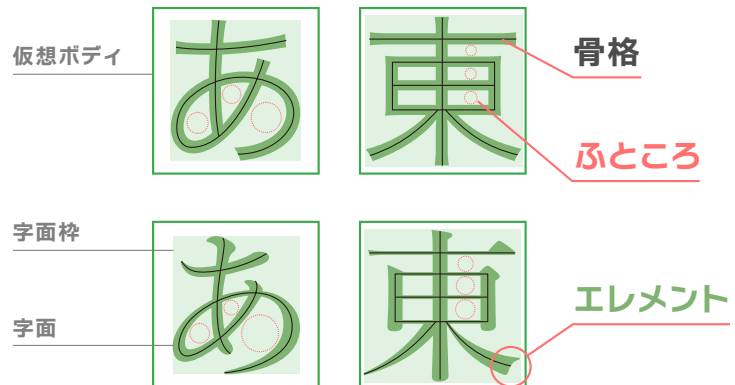
### エレメント

文字の骨格に肉付けした部分、字形。フォントのデザインの特徴がいちばん現れる部分で、フォントごとに違うエレメントを持っています。同一フォント内では統一感が出るように同じデザインのエレメントを使用しています。(ただ同じエレメントを組み合わせるのではなく、1文字ずつ調整が加えられています)

エレメントには部分ごとに名称がついていますので、後ほどご紹介します。

「骨格」「ふところ」「エレメント」はフォントごとに形や大きさが違います。「ふところ」と「エレメント」に「重心」を合わせた3つの要素がフォントの印象を決めています。

## 和文書体の構成要素



## 和文書体のエレメント

和文書体のエレメントは、習字をイメージするとわかりやすいかもしれません。「とめ」「はね」「はらい」など、パーツごとに筆の運び方を習いませんでしたか?このように、エレメントの部分ごとに名称がついています。

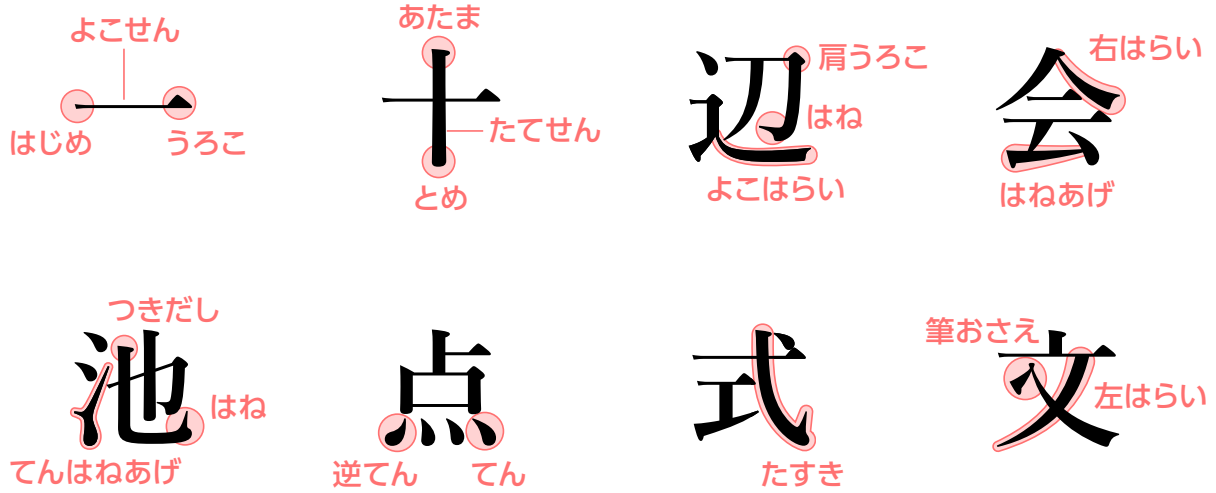
和文書体だと、漢字、ひらがな、カタカナでエレメントが異なります。漢字とひらがなをピックアップしてご紹介します。

今回は、エレメントの違いをよりわかりやすくするために、図に明朝体のフォントを使用しています。(使用フォント: 游明朝体 Demibold)

明朝体は、線の端に「うろこ」がついた書体のことです。うろこは横線の右端にある三角形のアクセントです。ゴシック体にはうろこはついていません。

## 漢字のエLEMENT

漢字を構成しているELEMENTは、以下の図の通りです。横線、縦線、左右のはらいなどで構成されており、どこか幾何学的なデザインになっています。1文字ずつ細かな調整がされていますが、基本的にこのELEMENTを基準にして書体がデザインされています。



## ひらがなのELEMENT

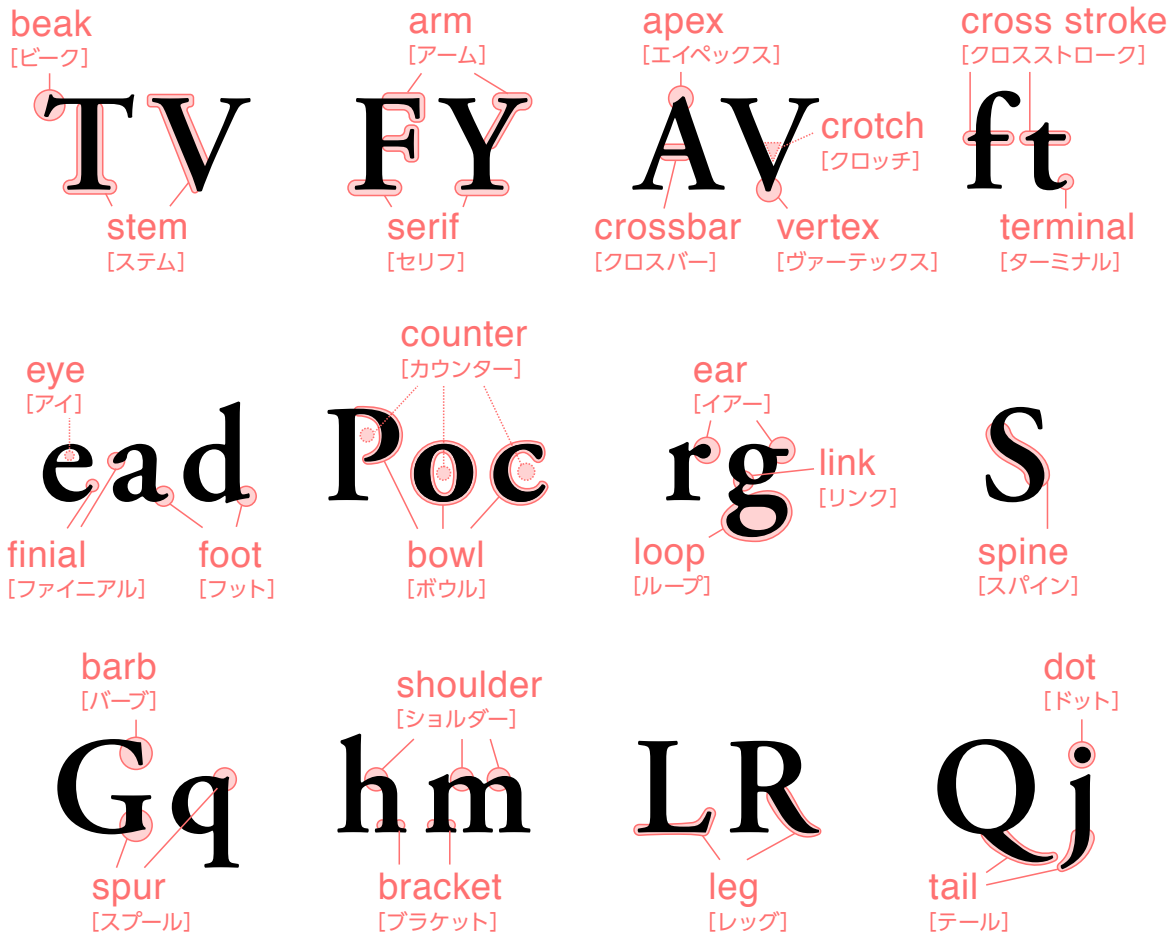
ひらがなを構成しているELEMENTは、以下の図の通りです。ひらがなのELEMENTは全て曲線で構成されています。筆の運びが見えてくるような滑らかな曲線です。



## 欧文書体のエレメント

欧文書体は和文書体と異なるエレメントで構成されています。こちらも部分ごとで名称があるので、見てみましょう。

今回は、エレメントの違いをよりわかりやすくするために、図にセリフ体のフォントを使用しています。(使用フォント: Adobe Garamond Pro Semibold) セリフ体とは、和文書体でいう明朝体のように、線の端に「うろこ」のような装飾がついている書体です。その装飾部分を、欧文書体では「セリフ」といいます。



## まとめ

- 骨格：文字の骨組みのこと
- ふところ：字面の内側の空間のこと
- エレメント：文字の骨格に肉付けした部分のこと
- 欧文書体と和文書体では、エレメントの細部の名称・区分が異なる

記事・資料制作 | 株式会社SMC-POWER (<https://smc-power.jp/>)

本資料の再配布、資料を加工した転載や配布、販売は禁止させていただきます。  
利用で発生した障害や事故などに関していかなる保証も行いません。

